

アグアスだより

2015年10月号

いつだって読書日和

子どもに「親に言われたくない言葉をあげてみて」と聞くと、「後でね」「勉強しなさい」そして、「本を読みなさい」が上位をしめるそうです。

私たちは、子どもの読書に何を期待しているのでしょうか。昔ならば、本を読んでいないで、少しでも働いて家を助けるというのが親の願いであったはずです。今では、たきぎを背負い、本を読む二宮金次郎の像を見て、その寓意を理解する子どもはほとんどいません。

私たちが、子どもの読書に期待していることの一つは、読書を通して自ら知識を増やしてほしいということです。もう一つは、登場人物との出会いを通して、悩み、悲しみ、喜び、そして、困難から立ち上がる人がいるということを知り、人間としての幅を広げ、豊かな情操を育んでもらいたいということです。私たちは読書に、子ども専属の家庭教師の役割を期待しているのかもしれませんが。しかし、その願いは、先の子どもの言葉にもあるように、必ずしも理解されているとは限りません。

その理由は様々ありますが、一番は私たちが子どもの心を忘れてしまって、子どものおかれている状況が見えにくくなっているためかもしれません。図書室のおびたしい本は、子どもの目には大きな海原に映ることでしょう。「本を読みなさい」というのは、その海原に「海図も磁石もなしに旅立ちなさい」というにも等しいのではないのでしょうか。

「本を読みなさい」という前に、子どもには海図や磁石を持たせたらよいのではないのでしょうか。大人の読書にとって、海図や磁石にあたるのは、「日本読書新聞」「図書新聞」「週間読書人」「このミステリーがすごい」などの書評です。ところが、子どもにはそれに当たるものがあまりありません。私たち大人（保護者や教師）が子どもの頃に読んで感動した本、ためになった本などを、子どもたちに海図や磁石として推奨してあげたらどうでしょう。もちろん、学校も図書室に「よい本をそろえる」ようにしたいと思います。

さて、本校の子どもたちは、どれくらい本を読んでいるのでしょうか。日本の読書調査によると、小学生が10.1冊、中学生が4.1冊、高校生が1.7冊という結果でした（年間の月平均）。一方、本校の子どもたちの読書量は、小学生で6.03冊、中学生で1.3冊、学校全体で4.5冊ですから（1学期の月平均）、子どもたちの読書量は、日本の子に比べて必ずしも多くないことがわかります。生活調査で、本校の子は「ゲームをする時間が日本の子より少ない」という結果が出ていました。せっかくのよい生活習慣があるのに、それが生かされずに残念な気がします。現在、学校では「アグアスっ子 読書カード」の取り組みを進めています。子どもたちが「読んだ本のページ数」をカードに記入し、学年目標をみざして読書に励む企画です。こうした取り組みを通して、子どもたちの読書量が増え、さらに本好きになってくれればよいと願っています。

さて、「童話は子どものためだけにあるの

ではなく、大人こそ読むべきである」といわれます。私たち大人が子どもと同じ本を読むことは意外と大切なことです。それは、読書を通して、私たちが子どもの心をとりとどし、子どもと本の世界を共有し合えるからです。自分の子と同じテーマで、それも心の深いところで気持ちを通わせ合えるなんて、素晴らしいことではないでしょうか。10月27日からの2週間は秋の読書週間です。今年の標語は「いつだって読書日和」。灯火親しむの侯。アグアスにおいても、暑からず寒からずのこの季節は、読書に最適の時期です。私たち大人も子どもと一緒に「活字離れ」を吹き飛ばして、おおいに読書に親しもうではありませんか。(校長 大越邦生)

児童生徒総会について

本校の児童生徒会活動は、小学部3年生以上の全員が、6つの委員会に分かれ、学校生活をよりよくするために積極的に活動しています。今月からいよいよ後期の活動が始まります。それではここで、後期の組織づくりから児童生徒総会までの日程を紹介します。

2日…各クラスで委員会の担当決定

5日…各委員会ごとの委員長・副委員長決定

6日～12日…各委員会ごとに活動計画書

(議案書)の作成

16日…学級討議で活動計画書の検討

26日…児童生徒総会で活動計画書の検討

最後にあげた児童生徒総会は、各委員会が作成した活動計画書を最終的に承認するかしないかを定める最高の議決機関です。各委員会は、ここで否決されることがないように、一生懸命活動計画書をつくるというしくみになっています。

(児童生徒会担当 真次 秀一)

本校の教育相談について

学校における教育相談とは、個人のもつ悩みや問題の解決を援助し、その生活に適応させ成長への援助を図るものです。本校のように海外で生活を送る児童生徒にとって、とても意義深い活動であると捉えています。そこで本校では日常的な児童生徒理解に加え、定期的な教育相談週間を各学期に設け、悩みや問題の早期解決に取り組んでいます。

1学期：宿泊学習・スクールキャンプ直後

2学期：運動会終了直後

3学期：パルケマラソン終了直後

定期教育相談週間では、学級担任が中休みや昼休みに児童生徒と個人面談を行います。

(教育相談担当 齋藤 新吉)

10月行事予定

10月	2日(金)	ファイターズ
	5日(月)	委員会(後期開始), 教育相談週間(9日まで 全校)
	7日(水)	クラブ
	9日(金)	ファイターズ
	12日(月)	中間テスト(中), カレーの日
	14日(水)	クラブ, 職場体験(中1)
	17日(土)	学校公開, クラブ(後期開始), 進路説明会(中3)
	19日(月)	17日の振休
	20日(火)	避難訓練(水害)
	21日(水)	クラブ(後期開始)
	23日(金)	ファイターズ
	24日(土)	実力テスト(中3), ファイターズ(親子サッカー)
	25日(日)	サマータイム終了, 漢検
	26日(月)	児童生徒総会(5校時), 豚井の日, 読み聞かせ
	28日(水)	クラブ